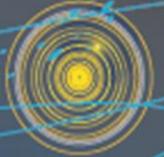


The 9th TRIZ Symposium in Japan 2013

Change Risk to Chance with TRIZ!  
Risk to Chance with TRIZ!  
Risk to Chance with TRIZ!



# 第9回TRIZシンポジウム閉会にあたって

(TRIZ Symposium 2013 in Japan)

**リスクをチャンスにTRIZで！**

(2013年9月5日～6日：統計数理研究所)

NPO法人日本TRIZ協会副理事長  
澤口 学

- 本年度から、3日間から2日間(平日)のシンポジウムとして実施しました。これで、企業関係者の方の参加が容易になったと考えます。
  - 2日間に短縮しましたが、第1日目には、効率よくチュートリアル(主に初心者対応)や特別講演2つを配置しました。
  - 2日目には、基調講演(AM)と特別セッション2つ、ポスター発表を配置しました。
- 
- Dr.Gaetano Cascini (ミラノ工科大学教授、イタリア)の基調講演と、椿 広計先生(統計数理研究所副所長)、Dr.Jeongho Shin(KATA, 韓国学術TRIZ協会長)の2つの特別講演を実施。
  - 鈴木 和幸先生(電気気通信大学情報理工学部、日本信頼性学会長)と、津本 周作先生(島根大学医学部, リスク研究ネットワーク運営委員)の2つの特別セッションを実施
  - 一般発表は、20テーマの実績でした。来年は今年以上の発表者を期待します。

今年は、東日本大震災の後遺症はなくなったと思いますが、海外からの参加者が、団体参加(韓国)がなくなった分、少なく(合計7名)になりました。しかしながら、国内の参加者は増えました。一つの理由としては、**2日間(平日)にして参加しやすい体制**になったからではないかと推測しております。

■参加者数(国内・海外) ・昨年:119名  
・今回:133名

**来年は記念すべき第10回大会**ですので、多くの参加者を期待したいと思います。

## 第9回のシンポジウムでは

- 後援：数理統計研究所、日本知財学会
- 協賛：日本科学技術連盟、日本設計工学会、日本創造学会、日本バリュー・エンジニアリング協会

■昨年(2012年)の後援：1団体、協賛：2団体に比較して今年(2013年)は、**後援：2団体、協賛：4団体**となり、大幅に支援団体を増やすことができました。これもひとえに関係者の皆様のご理解と努力のたまものと考えます。

■来年度は**記念すべき第10回大会**ですのでTRIZの認知度Upおよび参加者の増加を図るイベント等の工夫を考えたいと思います。

(第9回シンポジウム準備 & 実行組織) 皆様のご協力に感謝します。

### ■シンポジウム実行委員会

実行委員長：三原 祐治

実行副委員長（兼会計担当）：津波古 和司

実行委員（事務局）：池田 理、大田 哲也

実行委員（ポスターセッション担当）：福嶋 洋次郎

実行委員（スライド翻訳）：津波古 和司、小西 慶久

実行委員（広報担当）：前古 護、広報委員会

プログラム委員長：小西 慶久

プログラム委員：有田 節男、坪倉 紀子、澤口 学、大田 哲也

### ■開催準備協力

会場担当：統計数理研究所 椿 先生、岡本先生、河村先生、須藤先生

開催準備：古謝 秀明、

ポスター&パンフレットデザイン：志方 淳子

### ■会場設営

統計数理研究所 椿 先生、岡本先生、河村先生、須藤先生

TRIZ協会運営委員

(敬称略)

## 会場関係

今回のシンポジウム開催に当たり、会場の使用を快諾戴  
また種々の便宜を図って戴きました。

統計数理研究所の関係者の皆様には厚く御礼申し上げます。



■TRIZシンポジウムでの活動はもとより、**日本TRIZ協会**の活動は**会員ベースの公共的なボランティアベースの非営利法人活動**で行われています。

■TRIZを、広く日本に普及し、それによる産業の発展をめざして、研究会活動の参加をはじめとして、**TRIZ協会の活動に皆さんの積極的なご参加**をお願いします。

研究会活動(仮)

- 1) 「知財創造」研究分科会 主査：長谷川公彦氏)」
- 2) 「ビジネス・経営TRIZ」研究分科会 (主査：吉澤郁雄氏)」
- 3) 「TRIZ教育分科会(主査：未定)」

■来年度は**記念すべき第10回大会**です。

・日程：**2014年9月4日(木)～5日(金)**

・場所：**早稲田大学西早稲田キャンパス**

(東京都新宿区大久保3-4-1)にて開催(仮決定)を予定しています。

■10周年に相応しい**特別企画等も検討していく**所存でございます。

今から、日程調整をお考えください。

次回のシンポジウムには是非発表をお願いします。

→ **今から発表に向けて準備をお願いします。**

と同時に、今年同様活発な意見交換をお願いします。

**第9回TRIZシンポジウムへのご参加  
ありがとうございました。**

**あらためてお礼申し上げます。**

**◆来年のシンポジウムのためにも、  
アンケートの記入にご協力をお願いします。**

**◆あなたにとって良かった講演の「投票」をお願いします。**

また名札の回収にご協力ください。